

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	Foster		
○保護者評価実施期間	2025年 1月 21日		2025年 2月 12日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	17名	(回答者数) 12名
○従業者評価実施期間	2025年 1月 21日		2025年 1月 31日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5名	(回答者数) 5名
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 2月 27日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげている。	毎日ミーティングを行い、お子様について職員間で共有を行い、「こんな時はどう対応すればよいか？」など意見を出し合う時間を設けている。同じ支援方針で支援したり声を掛け合う環境を作っている	共有内容を絞り、限られた時間のなかでより多くのお子様のことを職員間で共有したり、さらに保護者への声掛け方法なども検討していく
2	必要に応じて子どもが個別の部屋や、場所を使用することが認められている	個別指導をする際に集中できる環境を設定しているほか、お子様が職員と密に話をしたい時には個室を使い、秘密保持に務めている	個室が一つしかないため、プレイルームで個室を作れるようにパーテーションなどを使い、個別活動の場所を分けたり、人目を気にせず職員と話せる空間を確保する
3	障がい児支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議にその子どもの状況をよく理解した者が参画している。	担当者会議前に職員間でそのお子様の情報を共有してから会議に参加している。その際には、施設内で実施して良かったことなどを会議で共有できるよう準備をしている	関係機関との連携を半年に1度～2度は行えるよう連絡を密に行い、家庭・学校・施設と三角の連携を大切にしていく

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	定期的に通信簿を発行することやHPやSNS等を活用する事により活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者様に対して発信できていない。	利用していただいた日のご様子などは保護者の方にラインでお送りしているが、活動の意図や効果などについて触れることができていなかった	1か月に1回、施設からの施設のおたよりなどを配布する。その際に、活動の様子とともにご自宅でも取り組めそうな活動を一緒に掲載することで家庭での取り組みでさらに成長を促していく
2	父母会の活動を支援することや保護者会等を開催し、保護者様同士で交流する機会を設ける事が出来ていない。	保護者に来ていただくための時間の確保ができていなかった。内容の精査ができていなかった	祝日などに、ペアレントトレーニングと保護者参加の活動などを取り入れ、他の保護者の方との交流を楽しめる機会を設ける
3	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保出来ていない。	研修の時間の確保ができていなかった	職員の支援スキル向上のために、基礎から情報を統一し、1週間に2回、事業所内研修を行う。さらに外部研修の機会なども設けることで、支援方法の幅を広げる

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名	Foster					公表日	2025年 3月 21日	
						利用児童数	2025年 2月 10日	
							回収数 12	
	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応	
環境・ 体制 整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	67%	17%	0%	17%	・子供が走ったり動き回る活動もしたいと言っていますが、室内のスペースでは難しさを感じます。	・貴重なご意見をいただきありがとうございます。今後もお子さんの安全第一で運動の場合は外活動も検討し、取り組んでまいります。
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	67%	17%	0%	17%		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	83%	8%	0%	8%		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	92%	8%	0%	0%	・髪の毛やホコリが落ちている時がある。	・貴重なご意見をいただきありがとうございます。曜日によってお子様の利用人数が多い場合、活動時間中に落ちる場合も多々ある為、今後もお子さんの清潔な環境維持に出来る限り取り組んでまいります。
適切 な支 援の 提 供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	100%	0%	0%	0%		
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	83%	8%	0%	8%		
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	100%	0%	0%	0%		
	8	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	92%	0%	0%	8%		
	9	放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	92%	0%	0%	8%		
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	92%	8%	0%	0%	・シアターを時々あきたと言ってます。	・貴重なご意見をいただきありがとうございます。学校での全体集会への円滑な参加ができるよう対策としてシアターを取り入れております。シアターの上映内容など工夫しお子さんが楽しんで参加してもらえようつとめてまいります。
	11	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	42%	8%	25%	25%		
保 護 者 へ の 説 明 等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	92%	8%	0%	0%		
	13	「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	100%	0%	0%	0%		
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	50%	8%	25%	17%		
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	92%	8%	0%	0%	・参加したことがない。	・送迎時にお会いできる保護者様は直接お話とお会いできない保護者様はLINE等も併用しながら申し伝えております。引き続き保護者様にわかりやすくお伝えできるようつとめてまいります。
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	92%	8%	0%	0%		
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	100%	0%	0%	0%		
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	25%	17%	33%	25%	・参加したことがない。	・令和7年度は親子参加の活動の企画を定期的にもうけ、保護者様が交流しやすい環境提供にとりくみます。
	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	100%	0%	0%	0%		
	20	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	92%	8%	0%	0%		

	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	75%	8%	8%	8%		
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	92%	8%	0%	0%		
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	75%	8%	8%	8%		
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	67%	8%	8%	17%		
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	75%	17%	0%	8%	・事業所近くの道路でタバコを吸っている職員の方を見かけました。道路でタバコの火を消して事業所へ入って行かれましたが、変動喫煙にもなると思うので、子供の世話をしてもらおうのは心配です。	・貴重なご意見をいただきありがとうございます。ご不安にさせてしまい大変申し訳ございません。お子さんの安心していただける環境設定に今後もつとめ、今後このような事がないよう、徹底してまいります。
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	100%	0%	0%	0%		
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	92%	8%	0%	0%		
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	92%	8%	0%	0%	・行くまでは行きたくない、休みたいと言いますが行けば楽しんでいます。 ・学校から帰って来ても、フォスターさんへ行くのをいつも楽しみにしています。	・そのようにおっしゃってくださりありがとうございます。今後もお楽しみながら安心して療育を受けていただける環境設定につとめてまいります。
	29	事業所の支援に満足していますか。	92%	8%	0%	0%	・未就学児と一緒に活動をしているため、活動内容によって子供が物足りなさを感じています。	・貴重なご意見をいただきありがとうございます。色々な年齢のお子さんと一緒に過ごしながら療育支援を行う事の良さをもっと伝えていけるようプログラム等の構成を考慮し今後もつとめてまいります。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名	Foster		公表日 2025年 3月 21日			
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	100%	0%		
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	80%	20%		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	80%	20%		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	100%	0%	・常に掃除を行い、清潔な場所だと思う	今後もお子さんが楽しんで安心して療育を受けていただける環境設定につとめてまいります。
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	100%	0%		
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	80%	20%		
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	100%	0%		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	100%	0%		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	100%	0%		
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	100%	0%		
適切な支援の提	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	100%	0%		
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	100%	0%		
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	100%	0%		
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	100%	0%		
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	100%	0%		
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	100%	0%		
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	80%	20%		
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	100%	0%		

供	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	100%	0%		
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	100%	0%		
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	100%	0%	・共有があり、統一感のあるミーティングだと思う	・今後もお子さんが安心して過ごしていただけるようお子さんの特性や思いによりそった支援につながるよう、情報共有の徹底を行い、職員さんの働きやすい環境設定につとめます。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	100%	0%		
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	100%	0%		
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ合わせて支援を行っているか。	100%	0%		
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	100%	0%		
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	100%	0%		
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	80%	20%		
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	100%	0%		
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	80%	20%		
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	100%	0%		
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	100%	0%		
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	40%	60%		
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	60%	40%		
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	100%	0%		
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	80%	20%		
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	100%	0%		
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	100%	0%		
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	100%	0%		
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	100%	0%		

保護者への説明等	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	40%	60%		
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	100%	0%		
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	100%	0%		
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	80%	20%	・慎重に取り扱っていると思う	・お子さんや従業員のみなさんの情報も含めて取り扱いの徹底を引き続き行い、安心して過ごして頂ける環境につとめてまいります。
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	100%	0%	・毎回丁寧な対応で保護者様に様子を伝えていく	・お子さん、保護者様、職員同士も含めてお伝えする言葉や方法、環境を重視し徹底しております。引き続きつとめてまいります。
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	60%	40%		
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	100%	0%		
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	100%	0%		
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	100%	0%		
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	100%	0%		
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	100%	0%		
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	100%	0%		
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	100%	0%		
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	100%	0%	・しっかりと話し合いの場がある	・日々意識し支援にとりくめるよう、話し合いの場をもうけ取り組んでいます。引き続きつとめてまいります。
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	100%	0%			